



かつ もく

刮目

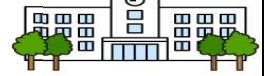
学校教育目標

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成～

校訓

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第39号

令和5年11月29日発行 文責：副校長 久我 和廣



3年先の稽古 ～生徒の皆さんへ～



大相撲の九重（このえ）親方がインタビューで次のようなことを語っていたことがあります。

『「3年先の稽古」という言葉があるんだけど、今日・明日とか一週間くらいやったところで、すぐには力はつかない。毎日毎日稽古することによって、3年くらいたって、ようやく稽古の貯金ができて本当の相撲の力ができてくる。そういう信念を持って頑張れる子は強くなっていく』という言葉です。



1日1日を大切に一生懸命取り組んでいる生徒はたくさんいます。そこで、更にそれに加えて3年先を考えてもっともっと努力をしていくことが必要だということです。

3年生は、今進路決定の真ただ中ですが、高校進学を希望している人は、高校に入ってから3年後の姿を思い描いて、今の自分を見つめ直してほしいのです。また、1・2年生も目の前に目を奪われて右往左往することなく、3年先にも楽しく意欲的に活動できるよう、今の自分の良さや課題をしっかりと自覚してください。

相撲界には他にも「1日サボれば自分でわかる、2日サボれば師匠に分かる、3日サボればお客に分かる」という言葉もあるようです。今のままの自分で良いのか良くないのかは、自分自身が一番わかっているはずですが、そのことを、お父さんやお母さん、先生方から指摘されたなら素直に認め、3年先の自分の姿を思い浮かべて改善していくことが大切です。

生徒の皆さんはこれから成長していくわけですから、一生懸命努力してもわからないことやできないことがあることは決して「恥」ではありません。逆にわからないことやできないことをそのままにしておくことが「恥」になります。わからないことやできないことは、今のうちにわかるように、できるように努力すれば良いのです。

自分を変えるには、勇気と努力が必要です。生徒の皆さんが自分自身をしっかりと見つめ直し、3年先の自分を考えられるような力を身につけていきましょう。

～参考文献：名言で語る校長講話(教育開発研究所)～

給食試食会

11月17日(金)本校会議室にて、保護者対象の給食試食会を実施し、21名の保護者の方々にご参加いただきました。



当日のメニューは、「千産千消デー」ということで、千葉県産の食材を使用したメニューでした。牛乳、ご飯、いわし揚げ玉フライ、ひじきの炒め煮、千葉の恵み汁、ちばポーク肉まん



給食室での作業内容の紹介、朝食の重要性等食育の観点を含めた話し合いを行いました。

試食会アンケートより（一部抜粋） 回答者数21名

- Q. 給食はおいしかったですか。
A. おいしい 21名
- Q. 給食の量はいかがですか。
A. 主食について
多い 3名 ちょうどよい 18名
おかずについて
ちょうどよい 17名 少ない 4名
全体として
ちょうどよい 21名
- Q. どのようなメニューをのぞみますか。
A.
- 家では、多品目の料理が難しいので野菜の多いメニュー。
 - 家庭では、肉が多いので、給食では魚や煮物をお願いしたい。
 - 日本食や季節に応じた食事や安心な食材を希望する。
 - サラダに果物が入っているのが嫌だ。小学校の方がおいしかったと聞いている。子供たちの意見を聞いてほしい。
 - 家ではあまり食べる機会のないメニューだと子供が喜ぶと思う。
 - 手作りアップルパイがおいしいと言っている。

職場体験学習

